

正々堂々

町田市立薬師中学校
第3学年 学年だより
令和8年7月3日
第13号

いよいよ始動！ JTB による事前学習会

先週の金曜日、体育館にて JTB の方をお招きし、「修学旅行の事前学習会」が行われました。いよいよ、修学旅行へ向けた具体的な活動がスタートしました。

学習会では、まず 20 分ほどの動画を通して「コース作りのポイント」を学び、その後、タブレットを使ってコースを組み立てるシステム「JTB-EDIC」の使い方の説明を受けました。



皆さんは真剣な表情で説明を聞いていましたが、初めて聞く専門的な内容やシステムの説明に、「少し難しそうだ…」 「自分たちだけで計画できるかな？」と、ちょっぴり不安や緊張を感じた人も多かったのではないのでしょうか。まだ具体的なイメージが湧かない段階だからこそ、難しく感じてしまうのは当然のことです。

しかし、いよいよ今日から班ごとのコース作りが本格的に始まりました。説明を聞くだけではピンとこなかったことも、実際に班の仲間と、「どこに行きたい？」 「ここに行くなら、時間はどれくらいかかるかな？」と手を動かし始めれば、きっとパズルを解くようなワクワク感が生まれてくるはずです。

コース作りを進める上で、大切なポイントは3つあります。

- ★誰か任せにせず、全員の「行ってみたい！」を持ち寄る。
- ★システムの操作に迷ったら、班の中で教え合ったり、周りとの情報を共有したりする。
- ★時間やルートの制限で思い通りにいかない行程があっても、それを「どう工夫するか」を仲間と楽しむ。

先週の学習会は、いわば旅の「出発点」です。使いこなせるか心配な部分もあるかもしれませんが、実際に触れていく中で、少しずつ慣れていけば大丈夫です。

制限時間の中で、自分たちの「やりたい」をどう形にするか。知恵を絞り、たくさん対話を重ねて、充実した最高のコースを自分たちの手で創り上げていきましょう！

一歩目を踏み出した「朝の議論タイム」

最近の朝の教室を見ていて、「もう少し皆が元気になるきっかけを作れないか」と、学級委員のメンバーが新しい挑戦を始めてくれました。それが、朝の短い時間で行う「朝の議論タイム」です。

4人グループを作り、「透明人間がいいか、不老不死がいいか」「一生夏がいいか、一生冬がいいか」といったテーマで5分程度話し合うこの活動。目的は、朝一番に少しでも声を出すことで教室に活発な雰囲気を作り、お互いの「元気なあいさつ」へと繋げていくことです。すでに2回実施されました。



実際の様子を見て回ると、写真からも伝わるかもしれませんが、正直なところ「最初から大盛り上がり！」とはいきませんでした。何を話していいかわからず沈黙してしまったり、少し照れくさそうに時計を気にしたりするグループもありました。朝一番の眠気や、急に話し合うことへの戸惑いがあったのは当然のことだと思います。

しかし先生たちは、この「盛り上がらなかったこと」を失敗だとは全く思いません。なぜなら、学年を良くしようと行動を起こしてくれた学級委員の

思いがあり、それに不器用ながらも向き合おうとした皆さんの「一歩目」が確かにそこにあったからです。2回目には、1回目よりも少しだけ声が増えたり、小さな笑い声が聞こえたりと、確かな変化も見られました。

新しいことを始めて、すぐに理想通りにいくことは滅多にありません。大切なのは、沈黙を恐れずに「まずは一言つぶやいてみる」ことや、友達の発言に「へえ、そうなんだ」と耳を傾けることです。

この活動は、完璧なディベートを目指すものではありません。たった5分間、誰かの声に耳を傾け、自分の言葉を交わす。その積み重ねが、教室の空気を少しずつ耕し、朝の「おはよう」を言い合える温かい雰囲気を作っていきます。

企画してくれた学級委員の皆さん、ありがとう。皆でこの新しい挑戦を、少しずつ育てていきましょう。